


えがお大東っ子 **第19号**

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

第2回 教育研究フォーラムを実施しました！

テーマ：一人ひとりの子どもの課題や特性に寄り添う
～組織として効果的に支援するためには～ 

今年度の教育研究フォーラムは、教職員を対象に1月17日（金）に実施しました。教育長のあいさつ・趣旨説明の後、市長にごあいさつをいただき、教育委員会の研究発表、北条小学校・諸福中学校の実践発表を行いました。それらの研究・実践発表を受け、まとめとして大阪大谷大学教授 小田浩伸氏による記念講演を、「子どもへのサポート～効果的な支援方法と組織体制～」の題で実施しました。

支援教育の観点を取り入れた授業は、本市で推進している「学び合う」授業づくりの観点と共通点が多くあります。支援を必要としている子どもにとって役立つ方法を考えることは、すべての子どもにとって有効な方法を考えることとなります。つまり、学力向上はもちろん、すべての子どもの豊かな成長を育むことにつながります。

そのため、今年度の教育フォーラムでは支援教育を、どの学校園でも学校づくりの基盤に据え、当たり前に取り組む「スタンダード」となることを共通確認しました。

～コミュニケーションカードより～

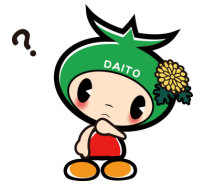
- ◆市内の幼小中の教職員が、一堂に集まりそれぞれの校種で取り組んでいることを交流して学び合う機会は、小中連携においても大切だと思います。幼小中の教職員の垣根を低くして連携が進めればよいと思います。
- ◆小田先生のお話の中で、自己肯定感を高める必要性の内容は胸を打たれるものがあった。私たちの教育は一人ひとりの人生を左右するという責任を持って効果的な方法を実践していきたい。今日から改めて進んでいくことがたくさんありとてもよかった。
- ◆ユニバーサルデザインの考えを授業や教室環境に取り入れることを改めて見直していきたい。
- ◆記念講演は今後の指導の中に必ず生きる内容だった。自己の授業でしっかり活かしていきたい。
- ◆子どもたちのためには努力あるのみですね。

コミュニケーションカードからは、自分自身や実践を振り返る機会にしたり、明日からの集団づくりや授業づくりの取組みのエネルギーになったという感想がたくさん聞かれました。このような思いを学校全体で共有し、組織的な実践を行うことが、全ての子どもたちの成長につながります。



一人ひとりの学びを大切に

～ 様々な形態で、よきめ細かな指導を工夫 ～



大東市では、全ての子どもがわかる喜びを感じ、意欲を持って学習に取り組む姿勢を育むために、全小中学校でグループ学習、チームティーチング、分割授業などに取り組んでいます。各校で児童生徒の学習状況に合わせて、実施する学年や教科を決め、より効果的な授業形態での指導を行っています。

< 全員の「分かる」を大切に >

子どもが授業中に自分の考えを言葉にしたり、それについて誰かの意見を聞くということはとても大切です。例えばグループに分かれて子ども同士で意見を出し合い、話し合うことによって一人ひとりの学習活動への参加の意識が高まります。

チームティーチング（複数の教師で指導すること）や、分割授業（クラスを2つに分ける等して少ない人数で指導すること）なら、さらにきめ細かく指導することが可能です。



4人班で意見交流



コの字型で授業

< 子どもに合った授業展開の工夫ができます >

分割授業によって、同じ教科の授業を子どもの状況に応じて違う方法で行うことができます。例えば、1クラスを2クラスに分割し、たくさんの問題にチャレンジするクラスと、しっかり納得してから次の問題に進むクラスに分けることができます。また、単元の復習の時間には、学年全体で3クラスのところを4クラスに分け、発展問題に取り組むクラスや復習も含めて取り組むクラス、個別に取り組む時間が多いクラス、友だちと意見を出しながら一緒に考える時間を大切にするクラスなど、様々なスタイルでの学習活動を行うことができます。



他のグループの意見紹介

< 「わかった！」「できた！」喜び、達成感の積み重ねを大切に >



少人数できめ細やかに指導

教材の内容を工夫したり、子どもの状況に応じて様々な指導方法をとることによって、子どもの理解度が増し、一人ひとりの子どもが、「わかった！」「できた！」という達成感をもって次のステップへ進むことができます。

達成感の積み重ねが、次の意欲につながります。

各学校はそのような授業を創るために、日々工夫を重ねています。

第1回大東市放課後児童クラブ発表会

平成25年12月1日(日)サーティホールにて、市内12小学校の放課後児童クラブの発表会がありました。当日は700人を超える出演者でした。

開会あいさつや閉会あいさつを高学年の子どもたちが行い、プログラム進行も全て子どもたちが担いました。発表内容も創作ダンスや合唱・合奏など各児童クラブで工夫されており、多くの保護者が応援にかけつけていました。

普段の教室とは違う雰囲気の中で、個性を発揮したり、頑張るたくましい姿を見ることができました。



みんなで体験しませんか！！

「大東市ニュースポーツフェスティバル」

障害者の社会参加の促進と生涯スポーツの推進をめざし、子どもから高齢者まで、誰もが参加できるスポーツの祭典を開催します。

◇第1部では、障害者スポーツのデモンストレーションを行います。

競技の説明を聞きながら模範演技を見ていただき、その後、体験することもできます。今回は車いすハンドボールです。

◇第2部は、ニュースポーツの紹介と体験コーナーです。

カローリング、ショートテニス、シャッフルボードなどの他にも楽しいニュースポーツがいっぱい!!

技術やルールが簡単なので、みんなで一緒に参加してニュースポーツを楽しみましょう!



- ・日 時：平成26年3月8日(土)
午後1時から
- ・場 所：大東市立市民体育館
- ・持ち物：飲み物、体育館シューズ



小・中連携教育の推進

9年間で子どもを育てる

大東市では、確かな学力の育成をめざし、9年間を見通した授業方法の工夫改善や生徒指導の充実等について、各中学校区が力を入れたいテーマで研究を進めています。今年も全ての中学校区で小・中合同研修会が実施されており、情報の共有・取組みの共有が図られています。



5つのテーマ

深野・諸福中校区

特別支援教育

谷川中校区

ICT機器の活用

*

*ICT: 情報通信技術

南郷・四条・大東中校区

生活・学習規律

住道中校区

使える英語

*

*大阪府の「使える英語プロジェクト」事業を受けています

北条中校区

アクセスプラン



年度末には、全校の小中連携教育推進担当者が集まり、それぞれの取組みを交流することで他校区の取組みを共有しています！

☞ すべての子どもにとって分かりやすい授業をするために、ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境や指導方法を工夫します。定期的に大学の先生による学校巡回相談も行っています。

☞ パソコン・実物投影機などの利用により、より効果的な授業づくりと子どもたちの情報活用力の育成をめざしています。

☞ 連絡協議会を開いたり、授業のあり方を考えたり、地域とも協力して子どもたちが落ち着く生活環境と学習環境を築き、学習に取り組む姿勢やルールを守る態度を育てます。

☞ 英語を使って積極的にコミュニケーションを図る活動を工夫したり、評価のしかたについて連携して研究を進めます。研究も3年目となり他市に向けて公開研究授業も実施しました。

☞ 6年生の中学校登校を実施しています。中学校で一日を過ごす中で中学校の授業体験、生徒との交流等、中学校での学習や生活を直接体験できる小中連携の取組みです。

小中合同でグループワークに取り組む



デジタルテレビを活用して教材提示



夏季合同研修会で共通の学びをもつ



英語を使ってグループで学習中



6年生が中学校で英語科の授業を！

